

エマージェンシースルーモジュール
EMG-70
EMERGENCY THROUGH
MODULE
取扱説明書

必ずお読みください！

ビデオトロン株式会社

この製品を安全にご使用いただくために



警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1、電源プラグ、コードは

- ・指定された電源電圧(AC100V 50/60Hz)以外では使用しないでください。
- ・AC 電源(室内電源)の容量を超えて機械を接続し長時間使用すると火災の原因になります。
- ・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・コードは他の機器の電源ケーブルや他のケーブル等からませないでください。
- ・コードの上に重い物を載せないでください。電源がショートし火災の原因になります。
- ・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にしてからプラグを抜いてください。

2、本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・すぐに電源スイッチを切ってください。ただし、電源回路上、切れない場合があります。その時は電源プラグを正しく抜いてください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザーによる警報音がした場合にはすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- ・上下に設置されている機械の電源スイッチまたはメインのブレーカーを切ってください。
- ・空調設備を確認してください。
- ・しばらく、手や体を触れないでください。ファンの停止が考えられます。設置前にファンの取り付け場所を確認しておきファンが停止していないか確認をしてください。5年に一度はファンの交換をおすすめします。
- ・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり火災の原因になります。
- ・消火器は必ず1本マシンルームに設置し緊急の場合に取り扱えるようにしてください。
- ・弊社にすぐ連絡ください。

3、機械の近くでは飲食やタバコ、火気を取り扱うことは絶対に行わないでください。

- ・特にタバコ、火気を取り扱うと電気部品に引火し火災の原因になります。
- ・機械の近く、またはマシンルーム等の密閉された室内で可燃性ガスを使用すると引火し火災の原因になります。
- ・コーヒーやアルコール類が電気部品にかかりますと危険です。

4、修理等は、ご自分で勝手に行わないでください。

下記のあやまちにより部品が発火し火災の原因になります。

- ・部品の取り付け方法(極性の逆等)を誤ると危険です。
- ・電源が入っている時に行うと危険です。
- ・規格の異なる部品の交換は危険です。

5、その他

- ・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
 - ・重量のある機械は1人で持たないでください。最低2人でかかえてください。腰を痛めるなど、けがのもとになります。
 - ・ファンが回っている時は手でさわらないでください。必ず停止していることを確かめてから行ってください。
 - ・車載して使用する時は確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
 - ・本体のラックマウントおよびラックの固定はしっかり建物に固定してください。地震などによる災害時危険です。
- また、地震の時は避難の状況によりブレーカーを切るか、火災に結び付かない適切な処置および行動を取ってください。そのためには日頃、防災対策の訓練を行っておいてください。
- ・機械内部に金属や導電性の異物を入れないでください。回路が短絡して火災の原因になります。
 - ・周辺の機材に異常が発生した場合にも本機の電源スイッチを切るか電源プラグを抜いてください。



誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1、操作卓の上では飲食やタバコは御遠慮ください。

コーヒーなどを操作器内にこぼしスイッチや部品の接触不良になります。

2、機械の持ち運びに注意してください。

落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。

また、足元に落としたりしますと骨折等けがの原因になります。

3、フロッピーディスクやMOディスクを取り扱う製品については

- ・規格に合わないディスクの使用はドライブの故障の原因になります。
 - マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。
 - ・長期に渡り性能を維持するために月に一回程度クリーニングキットでドライブおよびMOディスクをクリーニングしてください。
 - ・フィルターが付いている製品はフィルターの清掃を行ってください。
- 通風孔がふさがり機械の誤動作および温度上昇による火災の原因になります。
- ・強い磁場にかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。
 - ・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
 - ・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします。

- ・ほこりや異物等の混入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・お手入れの際は必ず電源を切ってプラグを抜いてから行ってください。
- ・正面パネルから、または通風孔からのほこり、本体、操作器内部の異物等の清掃。
- ・ファンのほこりの清掃
- ・カードエッジコネクタタイプの基板はコネクタの清掃を一月に一度は行ってください。

また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。

安心してご使用していただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。

期間、費用等につきましては弊社までお問い合わせください。

**上記現象以外でも故障かなと思われた場合は弊社にご連絡ください。

☆連絡先………ビデオトロン株式会社

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間 8:30~17:00

E-Mail cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042-666-6311

緊急時 ** 090-3230-3507

受付時間 9:00~17:00

**携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承願います。

..... 目 次

この製品を安全にご使用いただくために.....	I
1.概 説.....	1
《特 長》.....	1
2.機能チェックと筐体への取り付け.....	2
1. 構 成.....	2
2. 棚板への取り付け.....	2
3. POWER ON までの手順.....	3
4. 基本動作チェック.....	3
3.各部の名称と働き.....	4
1. 外 観.....	4
2. 基 板.....	5
4.基本操作(接続例).....	6
1. 接続例.....	6
5.トラブルシューティング.....	7
6.仕 様.....	8
1.定 格.....	8
2.性 能.....	8
7.ブロック図.....	8
8. 外形寸法.....	9

1.概 説

EMG-70は、HD-SDIおよびSD-SDIに対応するエマージェンシースルー装置です。

CK-70Bをカスケード接続したときのエマージェンシースルー装置としてご使用いただけます。電源を落とした時、CK-70Bをバイパスしてライン信号がスルーで出力されます。

《特 長》

- ・ 機械式リレーを使用しており、電源断でエマージェンシースルー機能が稼働
- ・ 筐体の電源が落とせない時、EMG-70のモジュールを引き抜くとエマージェンシースルー機能が稼働
- ・ CK-70Bと併用すると、CK-70Bのオプションのリモコン、プリセットパネルを接続可能
- ・ HD-SDI、SD-SDI信号に対応しており、5C-FBのケーブルを使用して、入出力ケーブル長の合計を100Mまで延ばすことが可能

※ 同一筐体内に、他のコントローラー系モジュール(TLG-70C、VT-70C及びSHC-70HD、FS-70HD/SD等の筐体間通信機能を使用したとき)を入れることができません。

2.機能チェックと筐体への取り付け

1. 構成

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	エマージェンシースルーモジュール	EMG-70	1	
2	コネクタモジュール		1	
3	取扱説明書		1	本書

表2-1 構成

(1)メインモジュール

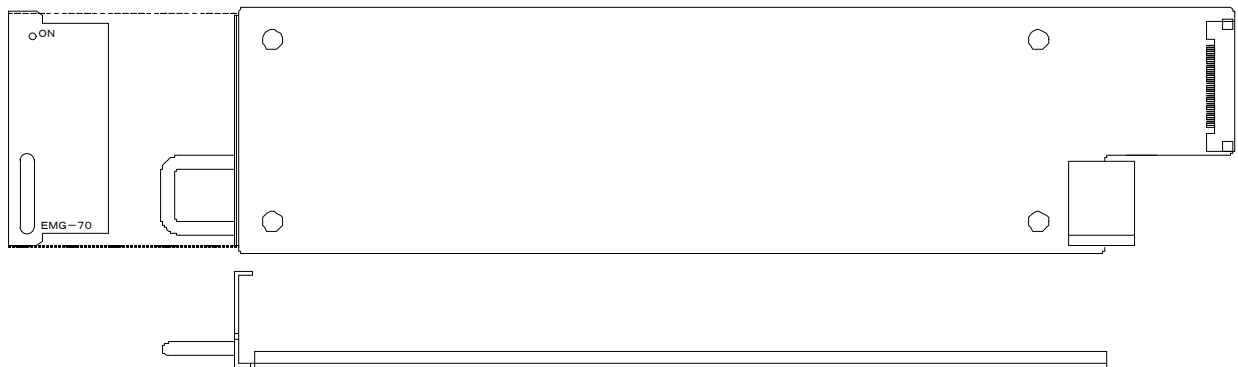


図2-1 メインモジュール

(2)コネクタモジュール

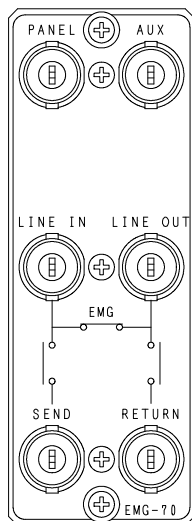


図2-2 コネクタモジュール

2. 棚板への取り付け

ご使用の際は、コネクタモジュール及びメインモジュールを棚板に取り付けてください。棚板はVbus-70Bシリーズのいずれにも対応します。実装方法については「Vbus-70Bシリーズ取扱説明書」を参照してください

3. POWER ON までの手順

- (1) 同一筐体内にEMG-70及びCK-70Bを正しくセットします。
- (2) 筐体の電源プラグをAC100Vのコンセントに接続します。
- (3) EMG-70のLINE INに本線映像信号(HD-SDI又はSD-SDI)を入力します。
- (4) EMG-70のSENDからの出力をCK-70BのLINE INに接続します。
- (5) CK-70BのLINE OUTをEMG-70のRETURNに接続します。
- (6) EMG-70のLINE OUTをモニター等に接続します。
- (7) 筐体の電源OFF時、EMG-70のLINE INに入力された映像信号がLINE OUTからスルーで出力されます。
- (8) 筐体の電源スイッチを投入すると、機械式リレーが切り替わり、メインモジュールのリレーONランプが緑点灯し、RETURNに入力されている映像信号がLINE OUTから出力されます。

4. 基本動作チェック

下記の操作で本機が正常に動作していることをチェックします。

正常に動作しない場合は「5.トラブルシューティング」を参照してください。

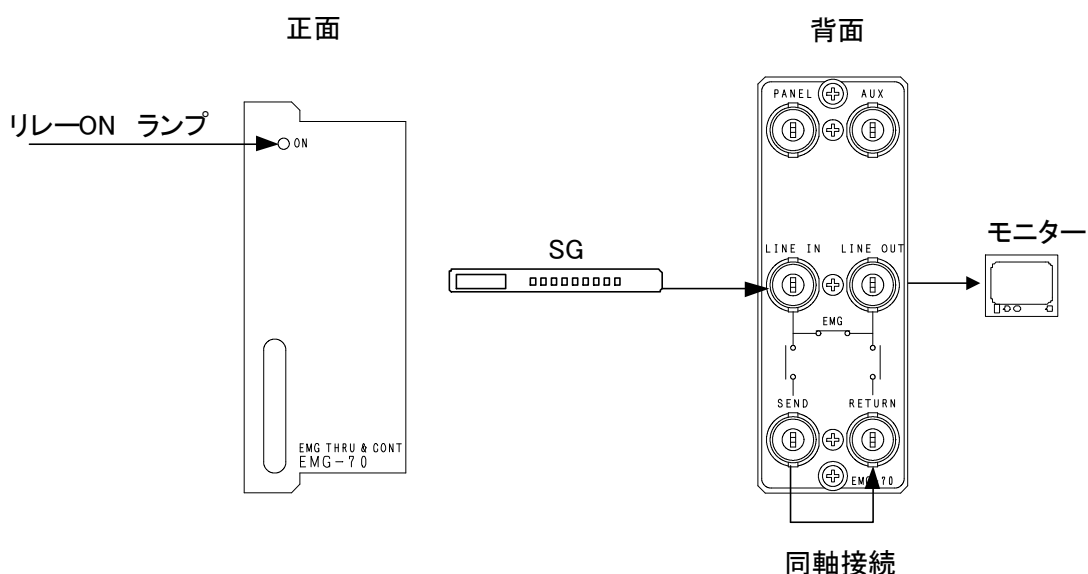


図2-3 基本動作チェック

- (1) LINE INにHD-SDI又はSD-SDI信号を入力します。
- (2) SENDとRETURNを同軸ケーブルで接続します。
- (3) LINE OUTをモニター等に接続します。
- (4) 筐体の電源OFF時、LINE INに入力した映像信号が、LINE OUTに出力されているか確認します。
- (5) 筐体の電源を投入すると、機械式リレーが切り替わり(リレーが切り替わる瞬間は出力映像が乱れます。)正面のリレーONランプが緑点灯していることを確認します。

3.各部の名称と働き

1. 外観

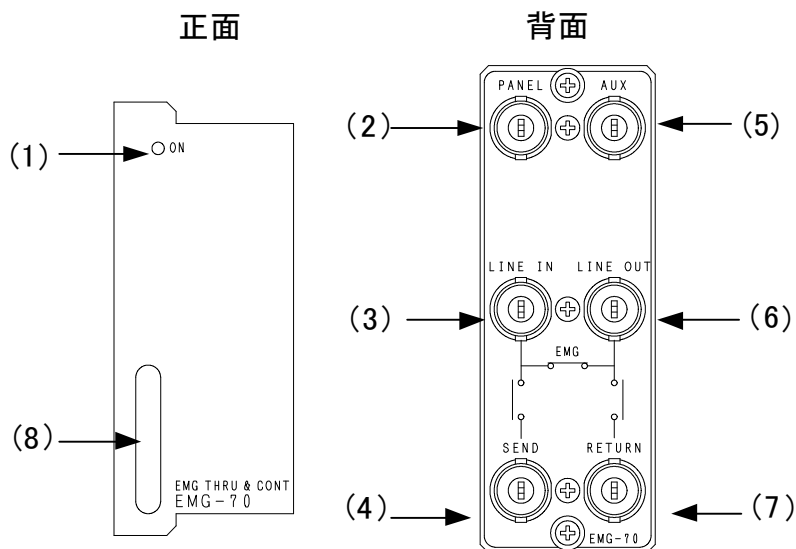


図3-1 各部の名称と働き

(1)リレーONランプ

筐体の電源投入後、機械式リレーが切り替わると緑点灯します。

(2)PANEL

CK-70-02(プリセットパネル)に接続します。

(3)LINE IN

HD-SDI又はSD-SDI信号を入力します。

(4)SEND

筐体の電源投入後、機械式リレーが切り替わると、LINE INに入力された映像信号を出力します。

CK-70BのLINE INへ接続します。

(5)AUX

CK-70-04(リモコンボックス)に接続します。

(6)LINE OUT

筐体電源OFF時は、LINE INに入力した映像信号をスルーで出力します。

筐体の電源投入後は、機械式リレーが切り替わり、RETURNに入力された映像信号を出力します。

(7)RETURN

CK-70BのLINE OUTの映像信号を入力します。

(8)取手

筐体への取り付け、取り外しなどを行う場合にはこの部分を持ちます。

2. 基板



図3-2 各部の名称と働き-基板

- (1)コネクタモジュール接続コネクタ
コネクタモジュールに接続されるコネクタです。
- (2)筐体接続コネクタ
筐体内部の基板に接続されるコネクタです。

4.基本操作(接続例)

1. 接続例

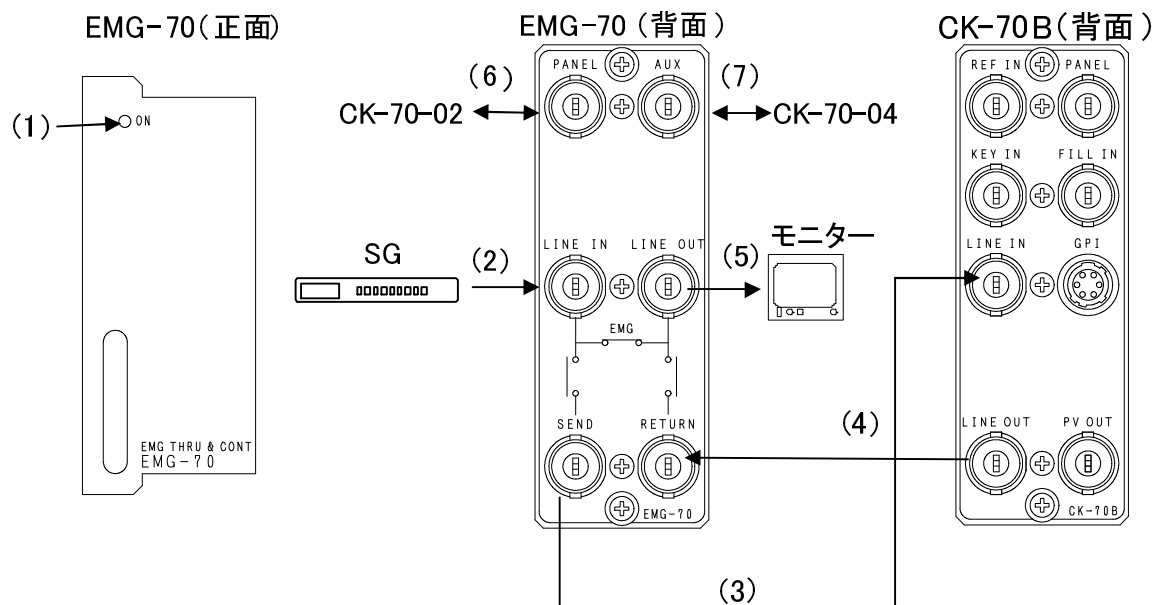


図4-1 接続例(CK-70Bを使用した場合)

(1)リレーONランプ

筐体電源投入後、機械式リレーが切り替わると緑点灯します。

(2)LINE IN

本線映像信号(HD-SDI又はSD-SDI)を入力します

(3)SEND

CK-70BのLINE INに接続します。

筐体電源投入後、機械式リレーが切り替わり、LINE INに入力されている映像信号が出力されます。

(4)RETURN

CK-70BのLINE OUTを接続します。

筐体電源投入後、機械式リレーが切り替わり、CK-70Bからの出力映像信号をLINE OUTへ出力します。

(5)LINE OUT

モニターなどに接続します。

(6)PANEL

CK-70-02(プリセットパネル)に接続します。

(7)AUX

CK-70-04(リモコンボックス)に接続します。

5.トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処法です。(文中の→は対処方法を示しています)
筐体のトラブルに関しては、筐体の取扱説明書もあわせてご覧ください。

現象 電源が入らない！

原因

- ・筐体の電源ケーブルは接続されていますか？
- ・筐体の電源スイッチはON側になっていますか？

現象 まったく動作しない！

原因

- ・筐体の電源ケーブルは接続されていますか？
- ・筐体の電源スイッチはON側になっていますか？
- ・メインモジュール(基板)は正しく挿入されていますか？

現象 映像がまったく表示されない！

原因

- ・LINE INにHS-SDI又はSD-SDI信号が正しく入力されていますか？
- ・LINE OUTはモニターに正しく接続されていますか？
- ・コネクタモジュールはEMG-70用ですか？

→「3.各部の名称」と働きを参考にして、コネクタとケーブルが正確に接続されているかご確認ください。

お問い合わせは、当社製造技術部までご連絡ください。

6.仕様

1.定格

入力信号

- ・ LINE IN SMPTE292M、SMPTE259M-C準拠、0.8V_{p-p}/75Ω、BNC 1系統
- ・ RETURN SMPTE292M、SMPTE259M-C準拠、0.8V_{p-p}/75Ω、BNC 1系統

出力信号

- ・ LINE OUT SMPTE292M、SMPTE259M-C準拠、0.8V_{p-p}±10%/75Ω、BNC 1系統
- ・ SEND SMPTE292M、SMPTE259M-C準拠、0.8V_{p-p}±10%/75Ω、BNC 1系統

外部/F

- ・ PANEL 2V_{p-p}/75Ω、BNC 1系統 (CK-70-02他と接続)
- ・ AUX 2V_{p-p}/75Ω、BNC 1系統 (CK-70-04他と接続)

動作温度・動作湿度

0~40°C・20~80%RH(ただし結露なき事)

消費電力

8VA (5V,1.6A)

2.性能

入力特性

- ・ LINE IN、RETURN

反射減衰量

100m/5C-FB

HD: 5 MHz~742.5 MHz、15 dB 以上

HD: 742.5 MHz~1.485 GHz、10 dB 以上

SD: 5 MHz~270MHz、15 dB以上

出力特性

- ・ LINE OUT、SEND

反射減衰量

100m/5C-FB

HD: 5 MHz~742.5 MHz、15 dB 以上

HD: 742.5 MHz~1.485 GHz、10 dB 以上

SD: 5 MHz~270MHz、15 dB 以上

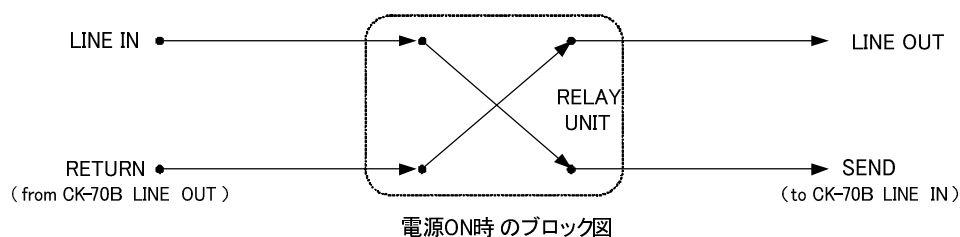
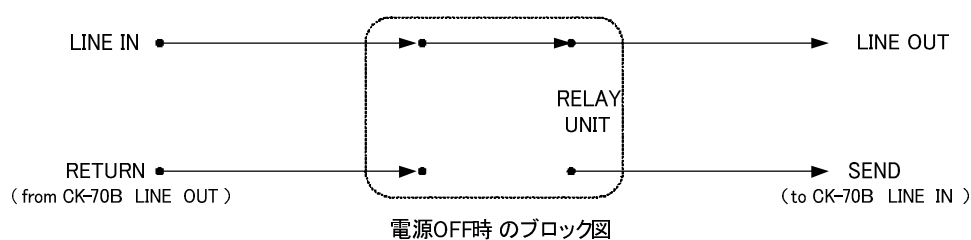
本線遅延時間

なし ※機械式リレー使用のため

PANEL、AUX

100m/3C2V

7.ブロック図



8. 外形寸法

◇メインモジュール外形寸法

・299(L)×75(H) (コネクター及びコネクターモジュールを除く)



単位:mm

◇実装棚板名/実装可能モジュール数/実装棚板寸法/質量

・Vbus-70B / 10 / 434(W)×88(H)×345.1(D)/6kg (電源2重化オプション対応)

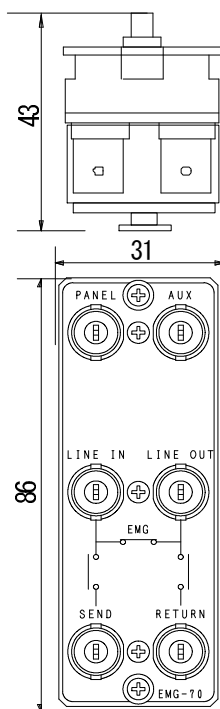
・Vbus-73BW / 1 / 444(W)×44(H)×345.1(D)/6kg (電源2重化対応)

・Vbus-74B / 4 / 444(W)×44(H)×345.1(D)/5kg

単位:mm

◇コネクターモジュール外形寸法

・31(W)×86(H)×43(D) 85g



単位:mm

御使用各位 殿

ビデオトロン株式会社

製造技術部

緊急時の連絡先について

日頃は、当社の製品をご使用賜わりまして誠にありがとうございます。ご使用中の製品が故障する等の緊急時には、下記のところへご連絡いただければ適切な処置を取りますので宜しくお願い申し上げます。

記

◎営業日の連絡先

ビデオトロン株式会社 製造技術部

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間 8:30~17:00

e-mail:cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042-666-6311

緊急時 090-3230-3507

受付時間 9:00~17:00

※携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承願います。

無断転写禁止

- ・このファイルの著作権はビデオロン株式会社にあります。
- ・このファイルに含まれる文書および図版の流用を禁止します。